

劇団 “いが悪徳バスターズ”（伊賀市）



悪徳業者撲滅！

伊賀市内の皆さんを 悪質な詐欺犯人から守りたい！！

1 活動地域

私たちが活動する伊賀市は、京都奈良と伊勢を結ぶ大和街道・伊賀街道・初瀬街道を有し、古来より都に隣接する地域として、また交通の要所として、江戸時代には藤堂家の城下町や伊勢神宮への参宮者の宿場町として栄えてきました。

伊賀市は、三重県の北西部に位置し、北は滋賀県、西は京都府、奈良県と接しています。地形は、北東部を鈴鹿山系、南西部は大和高原、南東部は布引山系に囲まれた盆地を形成しており、限られた台地を農地として利用し、近年は丘陵地を開発し、住宅団地なども形成しています。

2 団体の概要

平成18年に、市内居住の方が高額の特種詐欺被害を受けたことをきっかけに、伊賀市社会福祉協議会が消費トラブルをなくすため、「いが悪徳バスターズ養成講座」を開講しました。この講座では、市民に悪徳商法や特種詐欺等の消費トラブルに関する講話をすることで、受講者が地元地域に立ち帰り、その知識を広め、詐欺等被害防止を目的として開講しました。受講者のうち、有志が集まり、平成20年に、「劇団“いが悪徳バスターズ”」を結成しました。高齢者等を狙った悪質商法や詐欺の手口を寸劇で紹介し、市民総ぐるみで消費者被害防止の啓発活動をしています。

3 活動内容

(1) サロンや集会での啓発活動

地域からの要望に応じて「いきいきサロン」や「老人クラブの集会」に劇団員数名で出向き、特殊詐欺被害防止（還付金等詐欺及び架空料金請求詐欺）を中心とした寸劇を披露しており、講演日数は200回を超え、延べ約6,500人に注意喚起を促しています。

(2) 警察官との連携

結成当初は、劇団“いが悪徳バスターズ”による寸劇のみで活動していましたが、寸劇内容をより深く理解してもらうため、防犯講話を織り交ぜたイベントを伊賀警察署員に提案したところ、現在は防犯講話を署員が担い、寸劇とコラボして開催しています。

(3) 定例会の開催

毎月1回、定例会を開催し、劇団員に日々変化する特殊詐欺等の手口について学んでいただいています。

(4) 寸劇台本のアップデート

寸劇の種類は、現在8本ありますが、そのまま同じ台本を継続していても、新たな手口が追加されてくるので、手口の変化に合わせて寸劇をする必要がありました。劇団“いが悪徳バスターズ”のリーダー長瀬さんが中心となって、警察庁や消費者庁のホームページを参考に、特殊詐欺の手口について日々研鑽しています。

4 活動頻度

サロン等での寸劇披露は、年20回。定例会の開催は月1回。

5 課題

(1) 関係機関との連携

(2) 後継者不足

6 課題の解決に向けた取組方策

(1) 関係機関との連携

私たちは、一般の市民であり、取り扱っている題材も「特殊詐欺」という犯罪であり、その犯罪者からの嫌がらせも考えられ、自分たちだけの活動には、不安を感じることも多くあります。平成20年に劇団結成以来、私たちの活動を支援していただいているのは、伊賀市社会福祉協議会です。各地区老人会等からの依頼を受けていただく等窓口業務を担ったり、いが悪徳バスターズ養成講座を開講していただき、私たちの仲間を募集していただいたりする等、私たちの活動を支援していただき、安心して演劇に集中できています。

(2) 後継者不足

劇団員の高齢化が進んでいるため、後継者不足が問題となっています。現在9名の劇団員により何とか運用していますが、どうしても後継者不足が問題となり、昨年伊賀市社会福祉協議会職員さんに相談したところ、久々に「いが悪徳バスターズ養成講座」が開講され、18名が受講され、うち3名が劇団に入ってくださいました。今後も継続的な養成講座の開講を依頼し、劇団員の募集をしています。